



なんきょく ほっきょく さむ
南極 や 北極 は どうして 寒い の

たいよう いち きおん が
太陽の位置によって、気温が変わる

ちひょう たいよう ひかり ねつ なた あた たか ちひょう くうき あた き
 地表は、太陽の光や熱によって、暖められます。暖められた地表は、空気を暖め、気
 おん たか かつ さむ たいよう いち き
 温が高くなります。暑さ寒さのちがいは、太陽の位置によって決まります。

日本の夏では、冬に比べて、太陽は、高い所から照りつけています。太陽が低い所にあ
 るときは、地表が同じ面積に受ける、太陽の光の量は、太陽が高い所にあるときよりも、
 すく ちひょう おな めんせき う たいよう ひかり りょう たいよう たか ところ
 少なくなります。すると、気温が低くなります。

なんきょく ほっきょく たいよう いち ひく
南極 や 北極 は、太陽の位置がいつも低い

なんきょく ほっきょく なつ たいよう ふゆ ひく いち で ふゆ
 南極や北極では、夏でも太陽は、日本の冬よりも、かなり低い位置にしか出ません。冬
 になると、なんきょく ほっきょく にちじゅう たいよう で ひ つづ
 になると、南極や北極では、1日中、太陽が出ない日が続きます。

このように、なんきょく ほっきょく たいよう ひかり りょう すく きおん ひく
 南極や北極では、太陽からくる光の量が少ないので、気温が低く、いつ
 さむ
 も寒いのです。

ちきゅう まわ たいよう たか ちいき きせつ こと なんきょく
 地球が、かたむいて回っているので、太陽の高さが、地域や季節によって異なり、南極や
 ほっきょく なつ たいよう たか ひく
 北極では、夏でも太陽の高さが低いのです。（監修・国司 真）

